

## 2章・1節 平面上のベクトル

### ① 有向線分とベクトル

### ② ベクトルの計算

1 次の□をうめなさい。図

- (1) 右の図のように、向きのついた線分 AB を□といい、ABにおいて、A を□, B を□という。



- (2) 有向線分について、その位置を問題にしないで、向きと長さだけに着目したものを□という。

- (3) A を始点、B を終点とする有向線分 AB の表すベクトルのことを□と表す。

- (4) 有向線分 AB の長さを  $\overline{AB}$  の□といい、□と表す。

- (5) 2つのベクトル  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  について、向きが同じで、大きさが等しいとき、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  は□といい、 $\vec{a}$  □  $\vec{b}$  と表す。また、ベクトル  $\vec{a}$  と向きが反対で、大きさが等しいベクトルのことを  $\vec{a}$  の□といい、□と表す。

- (6) 2つのベクトル  $\overrightarrow{AB}$ ,  $\overrightarrow{BC}$  に対して、その□を  $\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC}$  と定める。

また、2つのベクトル  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  に対して、その□  $\vec{a} - \vec{b}$  を  $\vec{a} - \vec{b} = \vec{a} + (-\vec{b})$  と定める。

- (7)  $k > 0$  のとき

$k\vec{a}$  は、 $\vec{a}$  と□向きで大きさが  $k$  倍のベクトル  
 $-k\vec{a}$  は、 $\vec{a}$  と□向きで大きさが  $k$  倍のベクトル

- (8) ベクトルの実数倍の性質

[1]  $k(l\vec{a}) = (\square)\vec{a}$

[2]  $k\vec{a} + l\vec{a} = (\square)\vec{a}$

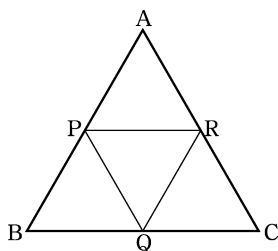
[3]  $k(\vec{a} + \vec{b}) = \square$

- (9) ベクトルの平行条件

$\vec{a} \neq \vec{0}$ ,  $\vec{b} \neq \vec{0}$ ,  $k$  を実数とすると  $\vec{a} \parallel \vec{b} \Leftrightarrow \vec{b} = \square$

2 正三角形 ABC の各辺の中点をそれぞれ P, Q, R とし、各頂点と辺の中点を始点、終点とするベクトルを考える。次のベクトルを答えなさい。

図



- (1)  $\overrightarrow{PR}$  と等しいベクトル

- (2)  $\overrightarrow{PQ}$  の逆ベクトル

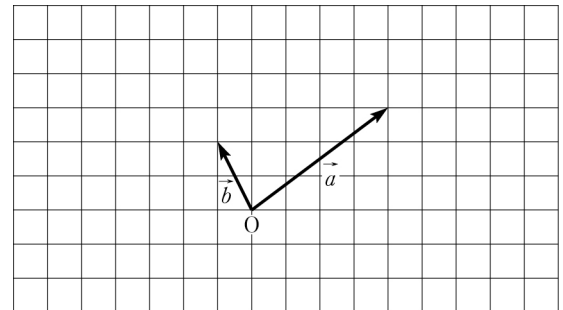
組	番号	名前

3 下の図で、次のベクトルを点 O を始点として図示しなさい。図

- (1)  $\vec{a} + \vec{b}$

- (2)  $\vec{b} - \vec{a}$

- (3)  $\vec{a} - 3\vec{b}$

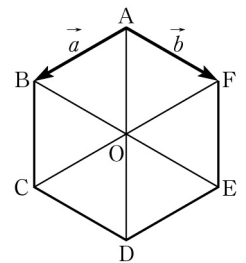


4 次の計算をしなさい。図

- (1)  $\vec{a} - 2\vec{a} + 5\vec{a}$

- (2)  $2(\vec{a} - 3\vec{b}) - 3(\vec{a} - 2\vec{b})$

5 正六角形 ABCDEF の中心を O とする。  $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{AF} = \vec{b}$  とするとき、次のベクトルを  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  で表しなさい。図



- (1)  $\overrightarrow{BC}$

- (2)  $\overrightarrow{EB}$

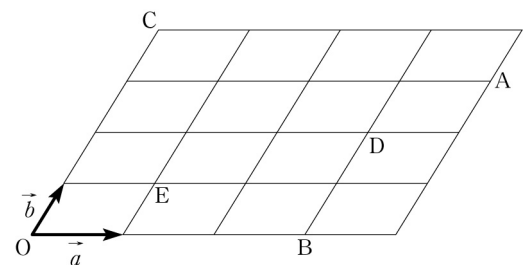
- (3)  $\overrightarrow{FD}$

6 右の図で、次のベクトルを、  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  を用いて表しなさい。図

- (1)  $\overrightarrow{OA}$

- (2)  $\overrightarrow{BC}$

- (3)  $\overrightarrow{DE}$



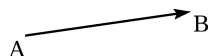
## 2章・1節 平面上のベクトル

### ① 有向線分とベクトル

### ② ベクトルの計算

1 次の□をうめなさい。図

- (1) 右の図のように、向きのついた線分 AB を **有向線分** といい、AB において、A を **始点**、B を **終点** という。



- (2) 有向線分について、その位置を問題にしないで、向きと長さだけに着目したものを **ベクトル** という。

- (3) A を始点、B を終点とする有向線分 AB の表すベクトルのことを  **$\overrightarrow{AB}$**  と表す。

- (4) 有向線分 AB の長さを  $\overline{AB}$  の **大きさ** といい、 **$|\overline{AB}|$**  と表す。

- (5) 2つのベクトル  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  について、向きが同じで、大きさが等しいとき、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  は **等しい** といい、 $\vec{a} \equiv \vec{b}$  と表す。また、ベクトル  $\vec{a}$  と向きが反対で、大きさが等しいベクトルのことを  $\vec{a}$  の **逆ベクトル** といい、 **$-\vec{a}$**  と表す。

- (6) 2つのベクトル  $\overrightarrow{AB}$ 、 $\overrightarrow{BC}$  に対して、その **和** を

$$\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AC} \quad \text{と定める。}$$

また、2つのベクトル  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  に対して、その **差**  $\vec{a} - \vec{b}$  を

$$\vec{a} - \vec{b} = \vec{a} + (-\vec{b}) \quad \text{と定める。}$$

- (7)  $k > 0$  のとき

$k\vec{a}$  は、 $\vec{a}$  と **同じ** 向きで大きさが  $k$  倍のベクトル

$-k\vec{a}$  は、 $\vec{a}$  と **反対** 向きで大きさが  $k$  倍のベクトル

- (8) ベクトルの実数倍の性質

$$[1] \quad k(l\vec{a}) = (k \times l)\vec{a}$$

$$[2] \quad k\vec{a} + l\vec{a} = (k+l)\vec{a}$$

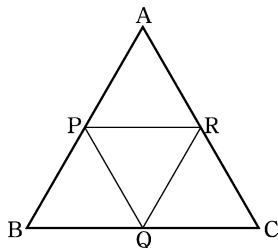
$$[3] \quad k(\vec{a} + \vec{b}) = k\vec{a} + k\vec{b}$$

- (9) ベクトルの平行条件

$$\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}, k \text{ を実数とすると} \quad \vec{a} \parallel \vec{b} \Leftrightarrow \vec{b} = k\vec{a}$$

2 正三角形 ABC の各辺の中点をそれぞれ P、Q、R とし、各頂点と辺の中点を始点、終点とするベクトルを考える。次のベクトルを答えなさい。

図



- (1)  $\overrightarrow{PR}$  と等しいベクトル

[解]  $\overrightarrow{BQ}, \overrightarrow{QC}$

- (2)  $\overrightarrow{PQ}$  の逆ベクトル

[解]  $\overrightarrow{QP}, \overrightarrow{CR}, \overrightarrow{RA}$

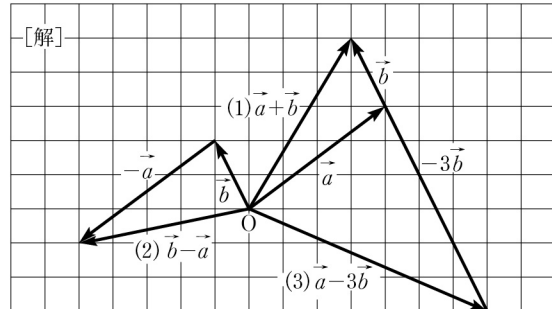
組	番号	名前

3 下の図で、次のベクトルを点 O を始点として図示しなさい。図

- (1)  $\vec{a} + \vec{b}$

- (2)  $\vec{b} - \vec{a}$

- (3)  $\vec{a} - 3\vec{b}$



4 次の計算をしなさい。図

- (1)  $\vec{a} - 2\vec{a} + 5\vec{a}$

[解]  $\vec{a} - 2\vec{a} + 5\vec{a} = (1 - 2 + 5)\vec{a} = 4\vec{a}$

- (2)  $2(\vec{a} - 3\vec{b}) - 3(\vec{a} - 2\vec{b})$

[解]  $2(\vec{a} - 3\vec{b}) - 3(\vec{a} - 2\vec{b}) = 2\vec{a} - 6\vec{b} - 3\vec{a} + 6\vec{b} = (2 - 3)\vec{a} + (-6 + 6)\vec{b} = -\vec{a}$

5 正六角形 ABCDEF の中心を O とする。

$\overrightarrow{AB} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{AF} = \vec{b}$  とするとき、次のベクトルを  $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  で表しなさい。図

- (1)  $\overrightarrow{BC}$

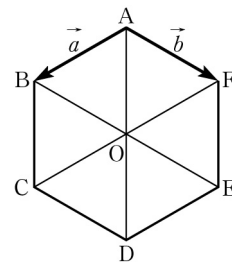
[解]  $\overrightarrow{BC} = \overrightarrow{AO} = \overrightarrow{AB} + \overrightarrow{BO} = \overrightarrow{AB} + \overrightarrow{AF} = \vec{a} + \vec{b}$

- (2)  $\overrightarrow{EB}$

[解]  $\overrightarrow{EB} = 2\overrightarrow{EO} = 2\overrightarrow{FA} = -2\overrightarrow{AF} = -2\vec{b}$

- (3)  $\overrightarrow{FD}$

[解]  $\overrightarrow{FD} = \overrightarrow{FC} + \overrightarrow{CD} = 2\overrightarrow{AB} + \overrightarrow{AF} = 2\vec{a} + \vec{b}$



6 右の図で、次のベクトルを、 $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$  を用いて表しなさい。図

- (1)  $\overrightarrow{OA}$

[解]  $\overrightarrow{OA} = 4\vec{a} + 3\vec{b}$

- (2)  $\overrightarrow{BC}$

[解]  $\overrightarrow{BC} = -3\vec{a} + 4\vec{b}$

- (3)  $\overrightarrow{DE}$

[解]  $\overrightarrow{DE} = -2\vec{a} - \vec{b}$

